

第1学年 美術科学習指導案

日 時 平成24年9月24日(月)
場 所 多目的教室1
指導者 教諭 風早 真二

1 題材名 「気に入ったところを伝えよう～作品のよさや美しさを感じ取ろう」 B鑑賞(1)

2 題材のねらい

- ・アートカードを使った鑑賞活動を通じて、作品の特徴や雰囲気などに関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取り、主体的に見方や理解を深める。
- ・他者から受けたイメージを作品と結びつけたり、色や形、構図、モチーフなど様々な鑑賞のポイントを基に、そのよさや美しさを感じ取る。

3 題材設定の理由

○地域との連携や生涯教育が重視される今、美術における鑑賞の授業で、実際に美術館や博物館に行き、作品に触れたり、学芸員に接しながら、生きた鑑賞の体験をさせることは、作品について知るだけでなく、作品の見方やそのよさについて知ることができるなどの大きな教育効果が期待できる。幸い、本校の隣には今井美術館があり、実際に作品を鑑賞できる機会が年間を通して数回ある。しかし、多様な作品に触れることは多いとは言えない。そこで、今回はアートカードを使って、美術・工芸作品のよさを味わったり鑑賞に必要な豊かな感性と意欲を喚起し、鑑賞の基礎的な能力や態度を養いたいと考えた。さらに、自己の内面を豊かにし、情操や豊かな人間性を育て、美術に対する理解と愛情を深め、想像への関心を高めたい。

○<生徒観は個人情報のため省略>

○この題材では、教科書や資料集などの作品や、国内の美術館や博物館に所蔵されている作品をもとに作成した鑑賞カードを使用する。ゲームはグループ単位で行い、楽しく協力する中で、認め合いながら、共感や共有ができるようにしたい。その中で能動的に美術作品のよさや味わい方を学び取らせ、鑑賞に関する基礎的知識を培い、鑑賞力を高めたい。また、自分の思いや感じたことを書き表すことで、本校の研究主題にも関わる『「書くこと」による表現力の育成』を目指したい。

4 準備物

教師：アートカード、ワークシート、視聴覚機器など。

生徒：筆記用具など。

5 評価規準

(1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
作品の特徴や雰囲気などに関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取り、主体的に見方や理解を深めようとしている。	他者から受けたイメージを作品と結びつけたり、色や形、構図、モチーフなど様々な鑑賞のポイントを基に、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。

6 題材の指導計画と評価計画（本時）

学習のねらい・学習活動	教師の支援	評価【評価方法】
導入（10分） ・参考作品を鑑賞する。 ・本時の学習内容を確認する。	・本時の学習内容を示し、見通しを持たせる。 ・ゲームのルールや要点を説明する。	
展開（35分） ・個々に作品を鑑賞する。 〔ルール〕 ①自分のカードを他の人に見せたり、人のカードを見たりしない。	・鑑賞の要点などの説明をし、生徒個々にアドバイスを する。 ・自分の選んだカードを覚えておくよう伝える。	関1 作品の特徴や雰囲気などに関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取り、主体的に見方や理解を深めようとしている。 【活動の様子】 【ワークシート】
・ワークシートを記入する。 〔ルール〕 ①作品名・作者名・絵はワークシートに記さない。	・机間指導を行い、色や形、構図、モチーフなどから生じる感情やイメージなどを基に、思いを聞き取り、作品の見方や表現したい言葉についてワークシートへの記入を支援する。	
● 言語から受けるイメージを作品と結びつけたり、鑑賞のポイントには色や形、構図、モチーフなど様々なものがあることに気づき、主体的に見方や理解を深めようとする。		
・アートカードゲームをする。 ・選んだ作品のワークシートを提示し、グループで協力して話し合い、アートカードの中から		鑑1 他者から受けたイメージを作品と結びつけたり、色や形、構図、モチーフなど様々な鑑

<p>作品を探す。</p> <p>①選んだ理由をみんなに発表する。 ②一人一回は発表する。 ③発表を終えた人には拍手をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに進むよう発言者のフォローをする。 ・発表に対し、拍手やうなずきなどで意思表示させ、認め合う雰囲気をつくる。 ・人によって作品に対する感じ方が違うことに気づかせる。 	<p>賞のポイントを基に、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。</p> <p>【活動の様子】 【発表の態度】 【発言の聴取】</p>
<p>まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに、自己評価や本時のまとめをさせる。 	

7 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要と判断される生徒への手立て
<p>美術への関心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴や雰囲気など関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取り、そこから作者の意図や心情にせまるなど高い関心をもって学ぼうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴や雰囲気などに関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取り、見方や理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動に参加し、自分の考えを伝えられるよう支援する。
<p>鑑賞の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を多様な観点でとらえることができ、他者から受けたイメージを作品と結びつけたり、そのよさや美しさを感じ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者から受けたイメージを作品と結びつけたり、色や形、構図、モチーフなど様々な鑑賞のポイントを基に、そのよさや美しさを感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品についての思いを聞き取り、作品の見方や表現したい言葉についてアドバイスする。